

令和6年度都内医療保険者のデータヘルス計画推進に向けたデータ分析 考察

- 東京都における**令和4年度の医療費総額**は4兆1,542億円であり、**令和3年度**に比べて**全国同様増加**しましたが（*1）、**一人当たり医療費**は29.6万円と**全国平均より低い水準**となっています。
- **患者数**は**医療費が高い循環器系疾患、新生物、腎不全、糖尿病、骨折**のいずれの疾患でも増加している一方で、**一人当たり医療費**は**循環器、新生物、腎不全、骨折**で減少している年代がありました。
- **医療費適正化計画**や**データヘルス計画**による**施策効果を検証する観点**から、**今後とも医療費が高く、対策が可能な疾患に関しては、性・年代別に患者数及び医療費の推移を捉えることが重要**です。
- **重複投薬の患者率**については**変化がなく**、**多剤投与**では**やや増加**、**抗菌薬の急性気道感染症等に対する処方**や**外来化学療法、リフィル処方箋の算定**は**全国より高く**、**白内障手術の外来実施割合**は**全国と同程度**という状況です。

● **令和4年度の健診受診率**は**72.9%**と**令和3年度**に比べて**7ポイント以上**増加し、引き続き**全国平均より高い水準**となっています。

● 健診結果については、**令和4年度のメタリックシンドローム該当者割合**は**15.0%**、**メタリックシンドローム予備群割合**は**12.0%**と、**令和3年度**に比べて**減少**し、引き続き**全国平均より低く**なっています。

● 東京都保険者協議会による昨年度の分析（*2）では、**平成30年度以降、メタリックシンドロームや肥満、高血圧などの増加傾向が把握**され、この背景として**新型コロナウイルス感染症による社会環境や職場での働き方、個人の生活習慣の変化が影響していることが指摘**されました。

● そして、**平成30年度から悪化した健康状況が令和2年度から令和3年度にかけて改善**しており、この傾向が**令和4年度にかけて継続**している状況です。

● 一方、生活習慣に関しては、**就寝前の夕食、睡眠**は**平成30年度から改善傾向**が見られていましたが、**令和4年度は令和3年度に比較していずれも悪化**し、逆に**運動習慣**は**改善**しており、**社会活動の再開に伴って個人の生活習慣が変化していることがうかがえます**。**たばこを習慣的に吸う割合**は、引き続き**減少**しています。

●今回、**令和3年度のメタボリックシンドローム該当者**について、**令和4年度に改善した者と悪化した者**との**生活習慣を比較**したところ、**運動、就寝前の夕食、飲酒**で差があり、**改善の程度が高かった者**については、**服薬者**でその差がより大きいことが示されました。また、**改善の程度が低かった者**では、**高かった者に比べて**、**服薬の有無に関わらず運動していない割合、就寝前に夕食を摂る割合の高い**ことが示されました。

●このように、平成30年度以降の健康状況及び生活習慣の変移が把握されており、**今後も都民の健康状況及び生活習慣の状況を踏まえた上で、保健事業を設計することが大切**です。

●実際に、**メタボリックシンドロームの改善者と悪化者に大きな生活習慣の相違**が示されており、**行動変容を促すための環境整備や保健事業による意識付けが有用**です。

●また、今回の分析では、**保険者種別、性・年代、業態によっても健康状況・生活習慣やその変化が異なる**ことが示されており、**加入者の属性や地域・職域の環境、保健事業の実施状況によって影響を受けている**ことが考えられます。

●**保険者はデータでそれぞれの状況を把握した上で、健康課題の解決を目指す必要があります。**

●令和6年度からスタートした「第3期データヘルス計画」では、健康保険組合に加えて、共済組合や国民健康保険、後期高齢者医療広域連合などでも計画様式、評価指標の標準化が始まりました。

●今後は共通の評価指標で保健事業を客観的に評価することが可能になり、実績の上がった保健事業の知見を抽出しやすくなります。

●東京都保険者協議会で実施されている「保険者の取組事例の構造化事業」（*3）にも参加していただき、保健事業の効果分析や知見の抽出及び共有につなげていただければと思います。

* 1 厚生労働省「令和4（2022）年度 国民医療費の概況」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-iryohi/22/dl/data.pdf>

* 2 東京都保険者協議会「特定健診データを活用した被保険者の健康状態等の分析」

https://www.tokyo-hokensyakyougikai.jp/contents/initiative/analysis_healthstatus.html

* 3 東京都保険者協議会「保険者の取組事例の構造化事業」

<https://www.tokyo-hokensyakyougikai.jp/contents/initiative/structuring.html>